

リニアロックコネクター

再使用禁止

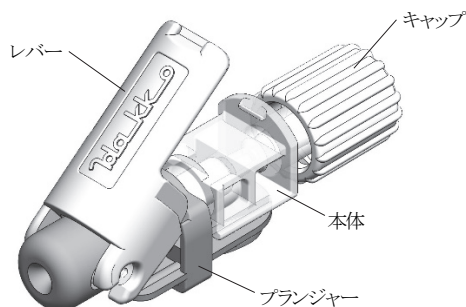
【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

- * 本品は、本体に挿入されている締付ゴムの圧縮によってカテーテルを固定し、本体に設けられているテーパーによって注射筒等の注入器と接続することで、カテーテルと注射筒等の注入器とを接続する機器である。コネクタ部は、ISO80369-6 (神経麻酔用コネクタ規格) 対応品である。

* <構造図(代表図)>



- 1) 本体: ポリプロピレン
- 2) 適合するカテーテル外径 0.6~1.0mm

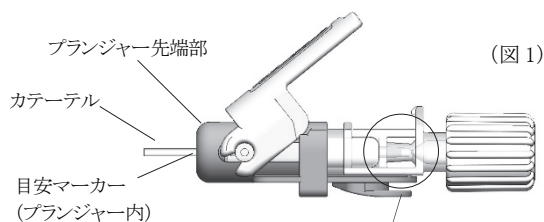
【使用目的又は効果】

本品は、カテーテルと注射筒等の注入器とを接続するために用いる。

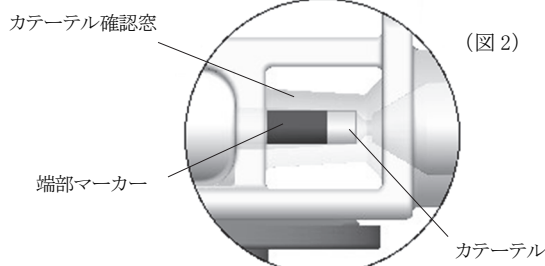
【使用方法等】

1. カテーテルを接続する場合

- ** 1) プランジャー先端部より、カテーテルを挿入する。(図1)
この時、カテーテルの目安マーカがプランジャー内にあり、かつ、カテーテル確認窓より、カテーテルの端部マーカが確認できること。(図2)



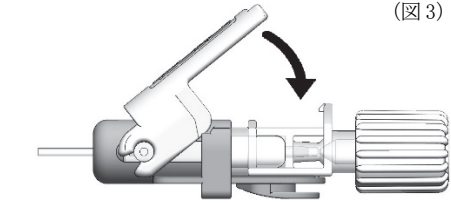
(図1)



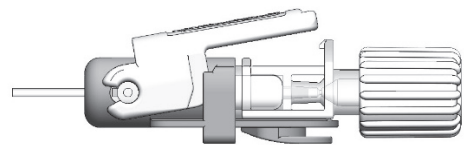
(図2)

- 2) テストドーズなどを目的に、カテーテルを一時的に接続する場合は、レバーを途中まで押し込んだ状態で(図4、ハーフロック)、キャップを取り外し、注射筒等の注入器を接続する。
- 3) テストドーズが終了した、若しくはテストドーズを行わない場合は、親指でレバーを押し込み、本体にしっかりと固定する。(図3、図5)

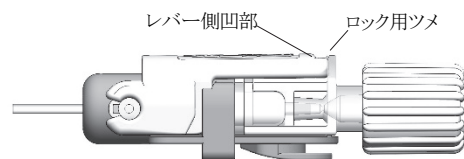
(図3)



(図4、ハーフロック)

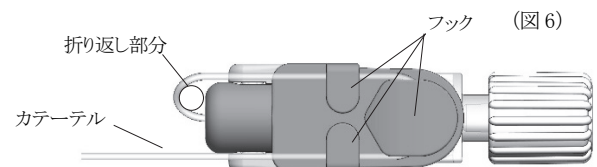


(図5)



- 4) キャップを取り外し、注射筒等の注入器を接続する。

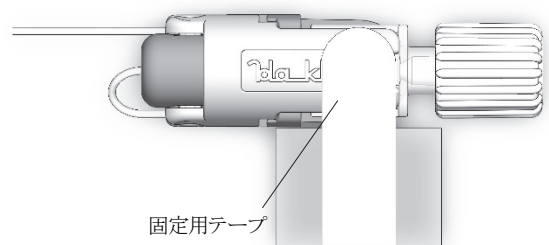
- ** 5) プランジャー裏面のフックにカテーテルをかけ、ループを形成する。(図6)



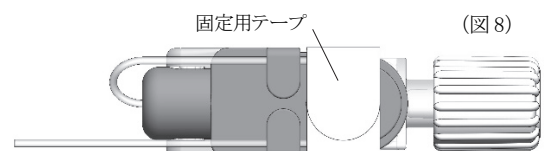
(図6)

- 6) 固定用テープの剥離紙(小)を取り外し、剥離した部分をレバー上面に貼付する。(図7)

(図7)



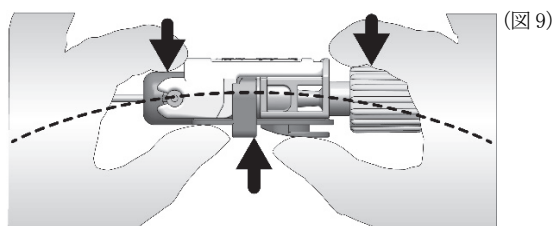
- 7) 残りの剥離紙を取り外し、本品に固定用テープを巻き付ける。(図8)



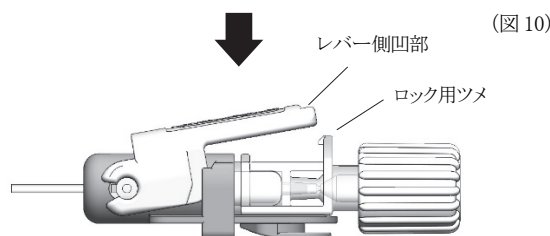
(図8)

2. カテーテルの接続を解除する場合

- 1) 本品全体を湾曲させて、レバー側凹部とロック用ツメの固定を解除する。湾曲させる際は、矢印の位置に荷重を加える。(図 9、図 10)

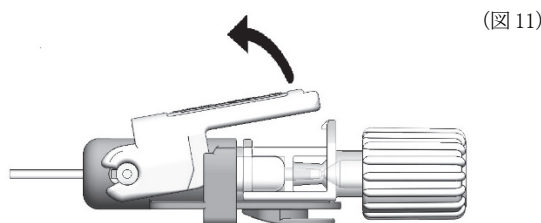


(図 9)



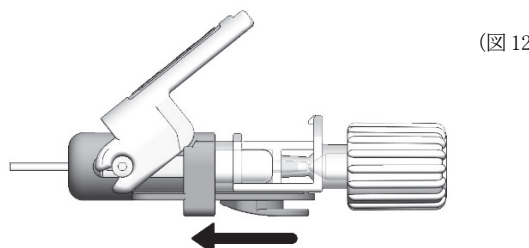
(図 10)

- 2) レバーを引き上げる。(上側ロック機構の解除) (図 11)



(図 11)

- 3) プランジャーを前方に少し引き出した後(図 12)、カテーテルをリニアロックコネクタより取り外す。



(図 12)

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 使用の際は、汚染に十分注意すること。
- * 2) 本品のコネクタ部は、ISO80369-6 に適合する製品と接続すること。
- 3) リニアロックコネクタ内部またはカテーテル表面が濡れた状態で接続しないこと。
[カテーテルが滑って抜けやすくなる場合がある。薬液注入後にコネクタを外して接続し直す場合には、新しいものを使用すること。カテーテルは清潔なガーゼ等で乾燥させること。]
- 4) リニアロックコネクタ裏面のフックにカテーテルをかける際、カテーテルの折り返し部分には、直径 2mm 程度の余裕を持たせること。(図 6 参照)
[カテーテルがキンクすることにより、流路が閉塞する恐れがある。]
- 5) リニアロックコネクタ全体を湾曲させる際、接続部品に過剰な負荷がかからないように注意すること。
[接続部品が破損する恐れがある。]
- 6) リニアロックコネクタにカテーテルを接続する際、レバー側凹部がロック用ツメにしっかりと固定されており、かつ、全体に歪みがないことを確認すること。
[レバーの固定が外れ、カテーテルが脱落する恐れがある。]
- 7) リニアロックコネクタにカテーテルが挿入されていない状態でレバーを押し込まないこと。
[締付ゴムが変形し、カテーテルが挿入不可になる恐れがある。]
- 8) リニアロックコネクタ使用時、カテーテルの接続を解除する際はレバーの引き上げ過ぎに注意すること。
[レバーが外れる恐れがある。]

【使用上の注意】

<不具合・有害事象>

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) 重大な不具合
 - ① 本品破損
 - ② 液漏れ
- 2) 重大な有害事象
 - ① 感染症
- 3) その他の有害事象
 - ① アレルギー反応

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

<有効期間>

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社八光
TEL 026-275-0121

<製造業者>

株式会社八光

販売窓口:

東京都文京区本郷三丁目 42-6
TEL 03-5804-8500